

## Ⅲ 施策の展開

### 1 基本目標 1

#### スポーツに親しむきっかけづくりの推進

日常生活の中で、市民がスポーツに触れるきっかけを大切にします。

スポーツに触れる機会の少ない市民やスポーツから遠ざかっている市民も含めて、気軽にスポーツに親しめる環境を形成していきます。

スポーツに接し、スポーツの楽しさを実感できるよう、自分のペースで日常生活の中にスポーツを取り入れる取組を進めます。

また、スポーツ観戦やスポーツ教室に関わる機会の充実に努めたり、アスリートと触れる機会を設けるなど、スポーツに親しめる取組を進めます。

#### 基本目標 1 の各施策

1-1 スポーツに身近に触れる機会の拡充

1-2 スポーツ観戦機会の活用促進

1-3 スポーツ教室の活用促進

1-4 アスリートと触れる機会の充実



スケート教室

## 1-1 スポーツに身近に触れる機会の拡充

スポーツに触れるきっかけは人により様々です。

身近なスポーツとして、ここでは、まず、「いつでも」「どこでも」できるウォーキングやジョギングを取り上げます。

ウォーキングやジョギングに対する施策として、励みとなるよう川越運動公園内のウォーキングコースやジョギングコースに、距離表示の設置をします。

また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会では、多くのボランティアの方に支えられました。ボランティアという形でスポーツに関わることも、スポーツを身近に感じることのひとつです。

さらに、運動の習慣化のため、健康マイレージ事業（※）や健康教室・運動教室等を開催し、地域のラジオ体操実施の支援をしていきます。

スポーツを行うには自らの健康管理が大切です。本市で行っている様々な健康診断事業をさらに周知していきます。

### 主な取組

#### ① ウォーキングやジョギングコースへの距離表示の設置

川越運動公園内への距離表示の設置をします。

#### ② ボランティアの推進

スポーツイベントなどに協力するボランティアを募集することで、ボランティア活動に携わる方が、スポーツを身近なものに感じるよう努めます。

#### ③ 運動の習慣化の促進

ウォーキングの習慣化のため、健康マイレージ事業の周知・啓発に取り組むとともに、健康づくりの健康教室・運動教室等を開催します。

また、いつでもどこでもできる体操として「ラジオ体操」があります。市内にはラジオ体操を行うグループが多数あり、ラジオ体操実施の支援をすることで、個人に合った運動の習慣化を促進します。

#### ④ 健康診断などの周知の促進

市民の健康管理のため、がん検診や 40 歳以上の健康保険加入者への健康診査等を、スポーツイベントなどでも周知していきます。

（※）健康マイレージ事業：埼玉県が行っている、「埼玉県コバトン健康マイレージ」事業。歩数計やスマートフォンのアプリ（コバトン健康アプリ）を使い、歩数をカウントすることで、ポイントが貯まり、抽選で賞品が当たります。

## 1-2 スポーツ観戦機会の活用促進

スポーツの観戦は、スポーツ選手の活躍する姿に感動したり、応援することで元気になったり、観戦者間で交流ができる機会となります。また、観戦したことがきっかけで、スポーツのすばらしさを感じることができ、実際の運動につながるきっかけにもなります。

実際、令和3（2021）年には、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が、新型コロナウイルス感染症対策として無観客で行われたにも関わらず、多くの人々がテレビやスマートフォンなどで観戦し、スポーツに触れるきっかけとなりました。

本市においては、川越市スポーツ協会などに加盟するスポーツ関連団体との協力によるプロスポーツ観戦の機会や、市主催以外の身近な大会の情報提供による観戦の機会を増やします。

### 主な取組

#### ① スポーツ観戦機会の充実

ジュニアアスリート育成事業では、プロ野球企業と連携協定を締結し、事業の一環として観戦チケットの配布などを行っています。

さらに、川越市スポーツ協会などのスポーツ関連団体との協力により、プロスポーツ観戦機会の拡大に努めます。

#### ② 身近な大会等の情報提供による観戦機会の充実

本市のホームページなどで、市主催以外の身近な大会等を掲載することで、観戦機会を増やします。



試合を応援する人たち

## 1-3 スポーツ教室の活用促進

スポーツをすることは、体を動かす喜びや楽しさ、心身の成長を得られる機会となり、健康で生きがいのある生き方を実現していくことができます。

そのきっかけづくりとして、スポーツ教室は、重要な役割を担っています。また、教室への参加を通じて仲間との交流が図られ、それが、スポーツサークル等へと発展していくこともあります。

社会福祉協議会などの関係機関や川越市スポーツ協会などの関係団体と連携し、年齢や性別、障害の有無、取り上げる種目、開催場所や時間帯などを考慮し、様々なスポーツ教室を継続的に実施していきます。

また、ホームページなどを活用し、市民に情報発信をしていきます。

なお、東京2020オリンピック競技大会では、若者に認知された新しいスポーツ競技として、BMXやスケートボードなどの競技で日本人選手の活躍が見られました。

これを契機に、新たな種目に触れる機会の提供を検討していきます。

### 主な取組

#### ① スポーツ教室の充実

現在、障害者ボッチャ教室や初心者テニス教室などのスポーツ教室を開催しています。新たなスポーツ教室の開催については、種目や開催場所、開催時間などを考慮しながら、検討していきます。そのために関係機関や、団体との連携をさらに深めます。

#### ② ホームページ等を活用した情報発信

スポーツが身近なものと感じられるように、市ホームページやメール配信サービスなどによるスポーツ教室の案内だけでなく、実際の教室の様子なども発信していきます。

#### ③ 新たな種目に触れる機会の提供

BMXやスケートボードなどの新たな種目に触れる機会を提供していきます。例えば、スポーツ教室の開催や、生涯スポーツフェスティバルでの体験教室の実施、これらの種目が楽しめる場の提供などを検討していきます。

## 1-4 アスリートと触れる機会の充実

トップアスリートは、スポーツに取り組む者にとってあこがれの存在です。特に、子どもたちにとっては、夢や希望を与えてもらえる対象であり、トップアスリートを積極的に市民に紹介することは、競技スポーツの基盤となる資質や能力を育むことにもつながります。また、トップアスリートを通じて、スポーツに新たに興味を抱き、実際に行いたいと思う人を増やすことも期待されます。

トップアスリートを講師に招いた教室・講習会等を開催することで、スポーツをしたいと思う人たちを増やします。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が令和3（2021）年に開催されたことから、オリンピックやパラリンピアンによるイベントや教室などを開催していきます。

また、ジュニアアスリート育成のために、企業や大学との連携を検討します。オリンピック・パラリンピック競技大会で活躍した選手は、子どもたちにとってもあこがれです。子どもたちのスポーツに対する関心を高められるよう、オリンピック・パラリンピック競技大会で活躍した本市ゆかりの選手を表彰します。

### 主な取組

#### ① トップアスリートに接する機会の提供

川越市スポーツ少年団に加盟している団員を中心に実施している、ジュニアアスリート育成事業の競技・種目内容を充実させるほか、各種スポーツ教室を充実させ、トップアスリートに接する機会を増やしていきます。

#### ② 大学アスリートによる、市内小学校での指導

市内小学校で、大学アスリートが指導を行うことで、スポーツへの興味、関心を高め、スポーツを始めるきっかけづくりにつなげます。クラブチームや少年団などの団体に所属していない子どもたちでも、スポーツを始めるきっかけづくりになります。

#### ③ 企業、大学との連携

既に連携協定が締結されているジュニアアスリート育成事業に加え、他の企業、大学との連携を検討します。

#### ④ 本市ゆかりのスポーツ選手の表彰

国際大会などで活躍し、本市のスポーツ振興に功績のあった本市ゆかりのスポーツ選手への表彰を行っていきます。

## 2 基本目標 2

### スポーツを楽しむ機会の充実

市民一人ひとりが、年齢や性別、障害の有無などに関わらず、自らの興味や関心にもとづき自分らしくスポーツを楽しむことを大切にします。

総合型地域スポーツクラブや小江戸川越ハーフマラソンなどの特色あるイベント、教室などを通じて、スポーツを楽しむ機会を充実させていきます。

また、多様化しているスポーツにも対応するため、新しいスポーツなどの情報提供や体験イベントなどを実施します。

スポーツ施設については、市民がスポーツを楽しむ場として、安全に利用できるよう維持管理等を図ります。

#### 基本目標 2 の各施策

2-1 総合型地域スポーツクラブの活用

2-2 特色あるスポーツイベントの充実

2-3 誰もが楽しめるスポーツの推進

2-4 市民の多様なスポーツへの対応

2-5 施設の活用・整備



本市においては、いつでも、どこでも、誰でも、を特徴とする、地域住民が主体となり運営する総合型地域スポーツクラブが、令和3(2021)年4月1日現在5か所で運営されています。

今後も、子どもから高齢者まで、初心者からトップレベルの人まで、地域住民の様々なニーズに応じた活動を用意し、誰もが、いつでも、楽しくスポーツや文化活動に取り組むことができる、総合型地域スポーツクラブの更なる設置を目指します。また、既存のクラブの自立、クラブ間のネットワークづくりを支援するほか、対外試合などを通じ、市民間、地域間の交流を促進するために既存クラブを活用していきます。

### 主な取組

#### ① 総合型地域スポーツクラブの設置

既存のクラブの会議等に参加することで、情報提供等を行い、クラブの運営を支援します。また、設置が行われていない地域への、スポーツクラブの設置を促進します。

#### ② 総合型地域スポーツクラブの啓発と普及

スポーツを身近に楽しみ、親しむ場として、総合型地域スポーツクラブを市民に周知、啓発し、その普及に努めます。

#### ③ 総合型地域スポーツクラブ間のネットワークづくり

既存クラブの対外試合などの企画について、市と連携できる環境づくりを進めます。連携の結果として、クラブ間のネットワークを強化していきます。

(※) 総合型地域スポーツクラブ：子どもから高齢者まで、いつでも、どこでも、だれでもがスポーツに取り組むことのできる、地域住民により主体的に運営されるスポーツクラブ。国の「スポーツ基本計画」で、各市町村に設置するよう目標が掲げられ、令和3(2021)年4月1日現在、本市では5つのクラブがある。



## 2-2 特色あるスポーツイベントの充実

川越市で開催されている、市民駅伝大会や生涯スポーツフェスティバルなどの大会やイベントについて、より一層充実した魅力ある内容とし、多くの参加者が楽しむことができ、スポーツへのきっかけづくりや目標となる大会やイベントにしていくとともに、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とせざるを得なかった大会やイベントを、安全に安心して参加できるものとして行います。

また、「蔵造りの街並み」などの観光名所を走り抜ける、「小江戸川越ハーフマラソン」など、川越市の特色を生かしたイベントを開催し、川越市の魅力を広げていくことで、スポーツツーリズムの検討へとつなげていきます。スポーツイベント、スポーツ大会と観光を結び付けることで、イベント、大会への参加を促進していきます。

### 主な取組

#### ① 特色あるスポーツイベントの充実

地域の人が、より参加しやすく、より楽しく参加できるよう、小江戸川越ハーフマラソン、生涯スポーツフェスティバルの内容を検討、充実させます。

#### ② スポーツツーリズム（※）の検討

スポーツイベントを実施するだけでなく、当該イベントの参加者、関係者などが、周辺観光を行うなど、観光につなげていくために、スポーツツーリズムを検討していきます。スポーツイベント、スポーツ大会を観光と結び付けることで、イベント、大会への参加も推進していきます。



小江戸川越ハーフマラソン

(※) スポーツツーリズム：スポーツを見に行くための旅行およびそれに伴う周辺観光や、スポーツを支える人々との交流などスポーツに関わる様々な旅行のこと。



## 2-3 誰もが楽しめるスポーツの推進

年齢や性別、障害の有無などに関わらず、誰もが楽しめるスポーツ環境づくりを進めていきます。

誰もが楽しめるスポーツ環境をつくるためには、初心者であっても取り組みやすく、参加しやすい教室やイベントづくりが重要であると考えられます。

また、障害者については、障害の程度を考慮しながら、楽しくスポーツができる機会を増やしていきます。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会では、パラスポーツにも注目が集まり、障害者が行うスポーツが身近に感じられるようになりました。

この機会を活かし、障害のある人もスポーツを楽しめるような取組を推進していきます。

さらに、誰もが安全に安心して楽しめるよう、スポーツイベントに関わるボランティアの充実に努めます。

### 主な取組

#### ① 障害者が参加しやすい教室の実施

障害者を対象とした障害者ボッチャ教室や障害者グラウンドゴルフ教室などを含め、障害者が参加しやすい教室を増やしていきます。

#### ② 誰もが楽しめるスポーツイベントの実施

年齢や性別に関わらず楽しめる種目を入れて、誰もが楽しめるスポーツイベントを実施します。また、イベントに関わるボランティアを充実していきます。

#### ③ パラスポーツの情報提供

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で注目された、ゴールボールなどのパラスポーツについて、情報提供を行っていきます。



障害者ボッチャ教室

## 2-4 市民の多様なスポーツへの対応

市民がいろいろなスポーツと出会う機会やスポーツを楽しめる機会をつくり  
ます。

生涯スポーツフェスティバルなどのイベントで、様々なスポーツを紹介し、  
体験コーナーを実施します。

また、企業・大学やスポーツ関連団体と連携したスポーツの体験教室、若者  
に人気の最新スポーツを取り入れたイベントなどを積極的に実施します。

### 主な取組

#### ① 最新情報の紹介と体験コーナーの実施

生涯スポーツフェスティバルなどで、最新のスポーツ情報の紹介と、体  
験コーナーなどを実施していきます。

#### ② 企業・大学やスポーツ関連団体と連携したイベント等の実施

企業・大学やスポーツ関連団体と連携し、スポーツイベントや講習会を開  
催し、スポーツの楽しさを伝えます。



生涯スポーツフェスティバル

## 2-5 施設の活用・整備

本市のスポーツ施設として、野球場、サッカー場、テニスコート、川越運動公園や川越武道館などがあります。川越運動公園のスポーツ施設（陸上競技場・総合体育館・テニスコート）は、平成4～8年に利用を開始しました。

川越武道館については、改修工事を行い、令和2（2020）年10月から利用を再開しています。これらの施設について、計画的に整備・更新、修繕を実施していくとともに、スポーツを実施する場の充実のため、多目的なスポーツ施設の整備について検討を進めます。

また、市内小中学校の運動場や体育館、武道場を開放しています。今後も、学校体育施設の積極的な活用を図っていきます。

### 主な取組

#### ① スポーツ施設の活用と充実

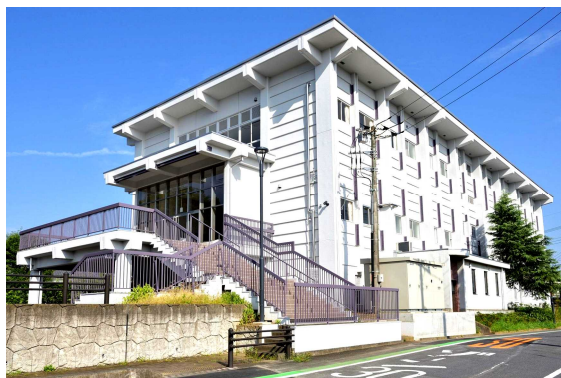
川越運動公園および川越武道館などの施設の活用に努め、利用者が安全にスポーツを楽しめるよう、適切に維持管理していきます。

#### ② 多目的なスポーツ施設の整備検討

多くの人々が身近に身体を動かし、スポーツに親しむことができるよう、多目的なスポーツ施設の整備を検討します。

#### ③ 学校体育施設の活用

開放学校施設運営委員会と学校との連絡・調整を行い、身近な場所でスポーツを楽しめるよう、小中学校の体育館など学校体育施設の活用に努めます。



川越武道館

## 3 基本目標 3

### スポーツを続けるための支援

幼児期から高齢期まで、世代に関わらず、多くの人々がスポーツを続けることができるようになることを目指します。

幼児期の親子で楽しむスポーツ、学校生活でのスポーツ、青年期や成人期のスポーツ、高齢期の健康維持のためのスポーツなど、ライフステージに応じてスポーツを続けられるようなスポーツ環境の充実に努めます。

また、多くの人々がスポーツを継続して行えるように、スポーツ関連団体との連携や個人、スポーツ指導者への支援を行っていきます。

#### 基本目標 3 の各施策

- 3-1 幼児期のスポーツ環境の充実
- 3-2 小中学校等でのスポーツ環境の充実
- 3-3 青年期・成人期のスポーツ環境の充実
- 3-4 高齢期のスポーツ環境の充実
- 3-5 スポーツ関連団体の支援・連携と個人への支援・表彰
- 3-6 スポーツ指導者の活用・支援



試合を支えるスポーツ推進委員

自分の体を思うように動かす力を身につけるためには、就学前の身体活動が重要です。体を使った遊びをたくさん経験する必要があることから、身体活動を伴う遊びを通じたスポーツの体験ができる機会を充実させるとともに、そのために必要となる安心して遊べる環境を整えます。

また、生涯にわたってスポーツに親しんでいくためには、この時期の基本的な生活習慣や食生活の確立が不可欠です。家庭への啓発等を含め、その充実を図ります。

遊びを通じたスポーツは、家族や友達と一緒に進むと楽しいものです。そのようなスポーツが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、以前と同様にはできなくなりました。「新しい日常」の中、再びコロナ禍以前の状況を取り戻せるように、遊びを通じたスポーツ教室を実施していきます。

#### 主な取組

##### ① 遊びを通じたスポーツ教室の実施

わくわく親子体操教室など、幼児期の子供と親が楽しめるようなスポーツ教室について、来場者にとって利便性の高い会場で開催するなど、内容の充実に努めます。

##### ② 基本的な生活習慣と食習慣の確立

乳幼児健診や各種教室・相談等で、基本的な生活習慣、食習慣の確立を支援し、スポーツを楽しめる土台となる心身共に健康な身体づくりを目指します。



わくわく親子体操教室

学校体育で、運動好きな児童生徒を育てることは、小中学校等を離れた後もスポーツを続けていく基盤となることが期待されます。そのため、教員が研修等を通じて体育授業における指導力を高めるとともに、学校全体で体育行事や活動に取り組んでいく必要があります。

小中学校間の教員や子どもたちの交流を促進することは、魅力あるスポーツとの出会い、スポーツをするきっかけづくりとなる他、育まれた関係性はスポーツを継続する上でも大変重要です。

また、近隣大学や関係団体などの外部指導者を活用し、運動部活動の充実を図っていきます。

さらに、ICT（※）を活用した授業や、オリンピック教室などを実施していきます。

#### 主な取組

##### ① 小中学校を越えた連携の推進

小学校の教員が中学校へ、中学校の教員が小学校へ出向き、ニーズに応じた指導を行うことで、小中学校のスポーツ環境を充実させます。

##### ② 外部指導者（近隣大学、関係団体の指導者）の活用

土日祝日の部活動における外部指導者の活用を、各種目の団体や地域スポーツクラブと調整し、子どもたちの部活動を継続させます。

##### ③ ICTを活用した体育授業の充実

体育の授業で、児童生徒が運動をしている動画をお互いにパソコンなどで撮影し、改善点を指摘し合うことで、身体の動きの理解を深め、スポーツを続ける楽しさを感じてもらいます。

##### ④ オリンピック教室の実施

オリンピック出場経験のあるアスリートが、市内の中学校にて、自身の経験を通じて、オリンピックの価値などを伝えることで、スポーツを続ける楽しさを感じてもらいます。

（※）ICT（Information and Communication Technology）

「情報通信技術」の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指します。これにより、地理的制約を越えて、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となります。



青年期は、高校や大学での運動部活動や地域におけるスポーツクラブ等への参加、各種スポーツイベントへの参加により、スポーツに取り組む習慣を作っていくことが期待されます。これらの活動へ参加することやスポーツイベントなどで、市内の高校や大学の運動部活動を紹介することにより、モチベーションを高め、スポーツをする習慣をつくり、生涯スポーツにつなげていきます。

成人期は、他の時期に比べ、仕事や家事、子育て等のため、スポーツに時間を割くことが難しいと考えられます。しかし、心身のストレス解消や生活習慣病の予防等の健康課題への対応がこの時期には求められます。

そのような中で、休日等を利用して、家族や仲間と一緒に、積極的にスポーツを取り入れていくことはたいへん重要です。また、少ない時間の中でいかにスポーツを取り入れていくかという工夫も必要です。

さらに、本市のホームページなどで、多様なスポーツ情報を発信し、スポーツを続けたいくなる機運を作ります。

#### 主な取組

##### ① 高校や大学の運動部活動などの紹介

スポーツイベントなどで、市内の高校や大学の運動部活動などを紹介し、市民のスポーツへの関心を高めます。

##### ② 工夫したスポーツイベント・教室の実施

土日祝日に開催しているスポーツイベントの中で、さらに親子で参加しやすい種目を増やします。また、働いている市民が参加しやすい、夜間などの時間帯に配慮したスポーツ教室を実施します。

##### ③ 多様なスポーツ情報の発信

本市のホームページなどで、市主催以外のスポーツ大会等の掲載から、最新のスポーツの掲載まで、多様なスポーツ情報を発信し、スポーツを続けたいくなる機運を作ります。

### 3-4 高齢期のスポーツ環境の充実

高齢期には、身体機能の低下等が健康的な生活を難しくすることが懸念されます。そこで、自分の体力や目的に応じて、スポーツを生活に取り入れ、継続的に取り組んでいくことが、身体機能の低下等を防ぐうえで必要です。

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの人が集まるスポーツイベントや地域で自主的に開催されていたスポーツサークル等が中止となり、日常的に仲間で集まっていた習慣が少なくなったことで、再びスポーツと関わる生活に戻すことは難しいものです。

このような中、身体機能の低下を防ぐ方法の紹介や、高齢者向けのスポーツイベントを実施することで、高齢者の健康長寿やQOL（クオリティ・オブ・ライフ）（※1）を高めていきます。

#### 主な取組

##### ① 身体機能の低下を防ぐ方法の紹介

市が推奨している身体機能低下防止のための「いもっこ体操」（※2）などを紹介することで、高齢者のQOLを高めます。

##### ② 高齢者向けスポーツイベントの実施

グラウンドゴルフ中央大会やシニアスポーツ大会などの高齢者向けスポーツイベントを通じ、高齢者の健康長寿を促進します。



グラウンドゴルフ中央大会

（※1）QOL（Quality of life）：私たちが生きていく上での満足度を表す指標のひとつ、「生活の質」。

（※2）いもっこ体操：本市が推奨している介護予防の体操で、バランス・柔軟性・筋力を鍛えるのに効果的です。本市のホームページでいもっこ体操の動画を公開しています。

本市には、川越市スポーツ協会や川越市スポーツ推進委員連絡協議会などのスポーツ関連団体があり、これらの団体は、本市が主催するスポーツイベントやスポーツ教室等において、重要な役割を果たしています。また、本市には上記協会等に加え、スポーツを楽しんでいるスポーツ団体も数多くあり、本市のスポーツの推進に貢献しています。

本市では、このようなスポーツ関連団体と連携し、引き続き、本市のスポーツ事業を推進します。

そして、全国規模の大会等へ参加する団体や競技者へ派遣費の一部を補助する支援を継続していきます。

さらに、スポーツ功労者や全国大会等の出場者、著名なスポーツ大会で優秀な成績を収めた個人や団体などへ、スポーツを続ける「はげみ」となるよう、表彰を行っていきます。

#### 主な取組

##### ① スポーツ関連団体の支援

川越市スポーツ協会や、川越市スポーツ推進委員連絡協議会などのスポーツ関連団体主催のイベントなどへの支援を通じて、本市のスポーツ事業を推進していきます。

##### ② スポーツイベント、スポーツ教室の連携、協力

日頃からスポーツ関連団体との信頼を築き、小江戸川越ハーフマラソン、生涯スポーツフェスティバル、その他各種スポーツ教室の連携、協力を推進していきます。

##### ③ 個人の支援

全国大会に出場する選手に対し、補助金を交付する、全国大会選手派遣費補助事業を継続して実施します。

##### ④ スポーツ功労者等への表彰

本市のスポーツ振興に功績のあった者へ贈られるスポーツ功労賞や、全国大会等出場者へ贈られる優秀選手賞、国内外の著名なスポーツ大会で優秀な成績を収めた個人や団体へ贈られるスポーツ賞などの表彰を行っていきます。

## 3-6 スポーツ指導者の活用・支援

継続してスポーツに取り組むためには、スポーツの正しい知識を身に付けた、スポーツ種目を十分に理解したスポーツ指導者の指導を受けることが大切です。

本市としては、このようなスポーツ指導者の活用に努めるとともに、研修会を開催することで、資質能力の向上を図ります。また、ボランティアやボランティアに近いかたちで指導に携わっている人たちにも、スポーツの正しい知識や、スポーツ種目を十分に理解できるよう、資質能力の向上を図るとともに、その活用に努めます。

### 主な取組

#### ① スポーツ指導者の活用

スポーツを続けるために、指導を受ける人の状況やスポーツのレベルに応じた指導ができるスポーツ指導者を支援します。また、近隣大学や関係団体などの指導者も活用していきます。

#### ② 指導者を対象とした各種研修会の実施

スポーツ指導者養成講習会やスタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会などの各種研修会を実施し、更なる指導者の資質能力の向上を図ります。

#### ③ ボランティアの活用

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、多くのボランティアが参加し、大会を支える存在として活躍しました。このような大会運営のボランティアに対し、地域において指導を行うボランティアも大切な存在です。そのような、ボランティアで指導を行う指導者の活用を進めます。



スポーツ少年団講習会

## 4 基本目標 4

### スポーツによる地域活性化の推進

スポーツを通じて、人が元気になり、交流が生まれて、地域も元気になることを目指します。

スポーツによる効用として、スポーツを楽しむために皆が集まり、新たな仲間をつくることが期待されます。そして、新たな仲間ができれば、人は元気になり、新たな交流が生まれます。

このような交流は、地域を活性化させるなど、多様な効果をもたらします。

スポーツを通じた交流、地域の活性化により、新たなスポーツ行事の担い手を育みつつ、「健康」で「快適」な地域づくりへと広がっていくよう取組を進めていきます。

#### 基本目標 4 の各施策

4-1 スポーツを通じた地域での交流促進

4-2 民間事業者との連携

4-3 スポーツ以外のイベントへの参加



地域で綱引き大会の練習中

## 4-1 スポーツを通じた地域での交流促進

各地域で行われているスポーツ行事に、地域住民が積極的に参加していくことで、新たなスポーツの魅力に触れたり、仲間との交流が図られたりして、より深くスポーツの楽しさを体感することができます。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域での様々な活動が制限され、そこで生まれていたコミュニティが抑制されてきました。

これに対し、地域のスポーツ推進委員やスポーツ振興連絡協議会との関わりを更に深め、地域のスポーツ行事への支援を行っていきます。

また、地域住民により主体的に運営されている、総合型地域スポーツクラブに対し、更なる設置を促進することで、地域の活性化につなげていきます。

さらに、地域ではラジオ体操が多くのお会場で行われています。ラジオ体操の実施を支援し、地域での交流促進を図ります。

### 主な取組

#### ① 地域のスポーツ行事への支援

地域で活動しているスポーツ推進委員やスポーツ振興連絡協議会との関わりを更に深めながら、地域のスポーツ行事への支援を行うことで、住民参加を促します。

#### ② 総合型地域スポーツクラブの更なる設置

総合型地域スポーツクラブが設置されていない地区へ市が説明を行うなどして、誰でも気軽にスポーツに参加できる場である、総合型地域スポーツクラブの設置を促進します。

#### ③ 地域のラジオ体操実施の支援

地域では、定期的にラジオ体操を実施し、健康の維持増進と併せ仲間同士の交流を促進している会場が多数あります。ラジオ体操の実施を支援していくことで、地域での交流促進を図ります。



## 4-2 民間事業者との連携

スポーツをきっかけとして、活力ある地域づくりへとつながっていくような取組を行っていきます。

例えば、市内の民間事業者等と連携することで、民間のアイデアを活用したスポーツイベントの実施を検討していきます。

また、観光関係者と連携した、スポーツツーリズムを推進することで、地域の活性化を図ります。

### 主な取組

#### ① 民間事業者等との連携

市内の民間事業者等と連携することで集客のアイデアを活用し、さらに魅力あるスポーツイベントへ内容を発展させることで、より多くの集客と交流が生まれることを目指します。

#### ② スポーツツーリズムの検討

小江戸川越ハーフマラソンの実施時に、観光マップなどを配布します。さらに、観光関係者と連携し、スポーツツーリズムの推進を検討します。



小江戸川越ハーフマラソン

## 4-3 スポーツ以外のイベントへの参加

いわゆる「スポーツイベント」ではない、民間事業者等が主催している既存のイベントや取組等と本市のスポーツ事業とを関連させるよう、取り組んでいきます。

また、本市が主催、共催、後援している既存イベントもスポーツと関連させることにより、PR効果を高める・参加者や参加団体の裾野を広げる・地域や団体の交流が深まるなど、地域の活性化が期待できます。

### 主な取組

#### ① スポーツ以外のイベントへの参加

スポーツ以外のイベントの一角に、本市のスポーツ担当がブースを置くなど、本市のスポーツ事業のPRを行います。また、本市のスポーツイベント会場で、本市や民間のスポーツではないイベントのPRをすることで、相互の宣伝効果を高め、地域の参加者を増やすことで、地域の活性化を図ります。

